



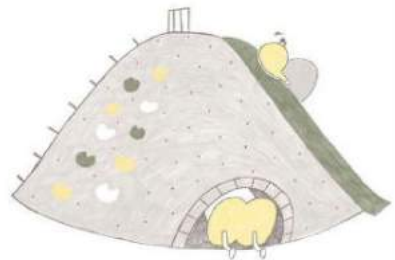
“子どもたちの成長を感じてほしい”

9月に入り、秋を感じる瞬間はありましたが、10月になってもまだまだ暑さを感じます。園では熱中症対策を十分行い、日々の保育に当たっているところです。

さて、保護者の皆様もお気づきのことと思いますが、園庭に立派な築山ができました。わたしが本園に赴任当初から、あればいいなと思っていた築山です。今、子供たちは築山での遊びに夢中です。

波型滑り台、トンネル、ダンボールスライダーなど、今まで本園でできなかった新しい遊びで毎日盛り上がりしております。また、築山を登ったり下りたりすることで、体幹が鍛えられることにも期待しております。

教育（保育）の効果はすぐには現れません。しかし、今後行われる園行事や地域行事等で、必ずや我が子の成長に気づくはずで。そのために、わたしたち職員一同は、日々保育力の更なる向上のために努力しております。



“こんな親になってほしい！”



【第6回】「小学校2年生頃までは、スキンシップを望んでいる」

幼児期は特に「スキンシップ」を望んでいます。頭をなでてあげたり、握手をしたり、ちょっとしたことで子どもは心の安定感を得るものです。

わたしが新採1年目（2年生担任）の頃、とても尊敬していた先輩教師から教えられたことがあります。それは、クラスの子どもたちの頭を一日1回、必ずなでることでした。そうすることで、必ず子どもは素直になるとおっしゃった先輩教師の言葉を信じ、実行しました。

聞くところによると、手のひらには、不思議な力があるのだそうです。「手当」の語源はここにもあるとのことでした。その効果をデータに基づき証明することはできませんが、登園時にタッチをしたり、頭をなでたりして、今も実行しています。

できれば買い物の時など自家用車ではなく、手をつないで歩きたいものです。子どもの愛情の欲求に応えてあげること、体力づくりを兼ねて、一石二鳥だと考えます。



【園長からのお願い】

- 1 朝9:00までの登園に御協力ください。（あと少しです！）
- 2 睡眠時間をしっかり確保してください。（眠そうな子を見かけます。）
- 3 子どもたちができるようになったことをほめましょう。（自尊感情が育ちます。）